

夜押新聞

号外 その2

号外その1は
ヨルオシ!HP(PC版)で
公開中!

発行:HTB北海道テレビ放送株式会社 www.htb.co.jp
札幌市豊平区平岸4条13丁目10番17号 011-821-4411(代)

北海道出身の平成ノブシコブシに一体何が!?

平成ノブシコブシの
ヨルオシ!
木曜深夜0:50放送中!



www.htb.co.jp/yoruoshi/

平成ノブシコブシの ヨルオシ! とは?

ニュースとして取り上げられた北海道内の出来事や人、またどうも気になる場所など、様々なニュース性のある「現場」に平成ノブシコブシの吉村崇と徳井健太が突撃!絶叫する破天荒男・吉村が、見たものに本気で怒り、感動し、悲しみ、そしてまた絶叫!暴走する吉村を軽妙な突っ込みでコントロールするのが徳井。ニュース番組では触れられなかった核心部分に迫るバラエティ番組なのだ。

1泊せず日帰りロケの真相

HTBがこの秋立ち上げた深夜番組「平成ノブシコブシのヨルオシ!」に出演中のふたりに新たな疑惑が持ち上がった。その名も「日帰り疑惑」。東京からタレントを呼んでロケを行う場合、札幌に1泊し、おいしい北海道の味を堪能し翌日東京に帰ってもらうケースが多い。しかし!平成ノブシコブシは1泊もせずトンボ帰りで東京に戻る。一体その真相とは!?

は11月の放送でご覧下さい。そのロケ終了後、今度は清田区に移動し世界一のスポーツチャンバラ選手と戦うロケ。終了後、呼吸は乱れ鼻息も荒いまま、ロケ車に乗せられ新千歳空港へ。午後8時半すぎの飛行機で羽田空港に戻っていた。

なぜ、このまま札幌に宿泊できないのか?吉村は札幌市西区に住む父親と会い、たかたかたは、確か空港で分かれる際の2人は、故郷北海道にもっといたいのだという表情。そこで夜押新聞編集局はよしものY田支社長を直撃!「ヨルオシ!」の基本精神なのだ。Y田支社長は取材に対し、すべてを認め激白した。

ロケを終え、新千歳空港から羽田空港に飛び立つ時、2人の表情は寂しくも見える。東京に戻ればまたハードなスケジュールが待っている。



初冠番組に気合い十分の平成ノブシコブシ
吉村崇(左)写真左、徳井健太(右)写真右

「えっ!1泊2日ですか?ん?今月も厳しいですね」とよしもとクリエティブ・エージェンシー札幌支社のY田支社長。ここ最近、平成ノブシコブシのスケジュールをおさえるのは至難の技だ。愛しているのに、寄り添ってみたい。9月某日の彼らの動きを見てみよう。

羽田空港を午前7時25分に飛び立つ。9時に新千歳空港へ出迎えたロケ車の中で、吉村はすぐに寝た。午前11時半にHTB社内の秋改編の記者会見に出席。ユーストリーム中継をこなし、ロケ車へ。午後1時半、手稲区にある謎の〇〇屋敷に潜入(〇〇が何か



HTB本社で行われた記者会見

「はい。確かに今、平成ノブシコブシのスケジュールをおさえるのは難しくなっています。なぜって?『ヨルオシ!』の出演依頼をいただいた8月上旬はまだ余裕がありました。しかし、どうしたことでしよう、初めての冠番組『ヨルオシ!』が決まってからというもの、東京キー局のレギュラー依頼が殺

「これは対して戸島プロジェクトは、激務の中、北海道にやってくる平成ノブシコブシの表情は毎回疲れているんですよ。しかし、我々スタッフと会うと、懐かしい親戚のおじさんにかつたときの表情になるんです。故郷だから気持ちがいいセットできているのかもしれないね。」



ロケを終え、新千歳空港から羽田空港に飛び立つ時、2人の表情は寂しくも見える。東京に戻ればまたハードなスケジュールが待っている。